

各位

青葉若葉の好季節、皆様には益々ご活躍のことと拝察いたします。

さて、平成令和の超大型連休に実施した「Go 羅漢ハイランドギャザリング」は微妙な結果に終わり、また昨年は不発4連発企画（萌黄RD／MD26th／さんいん1300／毛利チャレンジ）もあり、戦略の見直しを迫られている状況で、「拘り」と「布石の回収」を行うべきか悩んでいるところです。

▼もえぎのラリーデイ 2018

<http://bikejoy.web.fc2.com/ICD/MocMRT/Moe18.htm>

▼さんいん 1300

<http://www.bike-joy.com/Sanin1300.htm>

▼第26回小海マイティデューロMTB24時間耐久レース

<http://www.bike-joy.com/MD26th.htm>

▼THT26◇毛利チャレンジ 2018

<http://bikejoy.web.fc2.com/ICD/MocMRT/Momi18.htm>

▼Go羅漢ハイランドギャザリング

<http://www.bike-joy.com/GoRakan.htm>

個人的には、輪行車ブームでサイクルキャンピングに目覚め、平成のMTBブームで深く自転車業界に係わることになり、その中で「トレイルメンテナンス」や「ツーリングコンペティション」とも出会い、そして皆様とは、中上級者を対象にした活動から、日本の実情にあった自転車遊びを模索する活動に方向転換しながらも「ルート・エヌ」、「とれとれバイク」、「THT26◆◆自転車さんぽ」というオリジナル企画を仕掛ける中で出会いました。

「拘り」とは、その仲間と遊ぶ「ツーリングコンペティション」を「街道・山道・町の道」で展開することで、「布石の回収」とは、日本最大級のMTBイベントのツーリング部門を担い、震災復興支援イベントのアドバイザーを務めながら、単独のイベントや業界団体だけでは解決出来ない「自転車市民権獲得」を考える場面に遭遇し、それを解決するために《登頂ルート「クローズド&オープン」の提案》などを布石として打っており、それを今後も進めるか否か思案していることです。

▼《登頂ルート「クローズド&オープン」の提案》

[http://bikejoy.web.fc2.com/JCP/CKYP7\\_RCAJ.htm](http://bikejoy.web.fc2.com/JCP/CKYP7_RCAJ.htm)

そこに、「東京オリンピック」や「明治維新150周年」が重なり、さらに「自転車活用推進法」も施行され、追い風とも思えますが、オリンピックは超大型ハリケーンであり、自転車活用推進法は列島を駆け抜ける二つ玉低気圧であり、明治維新150周年は局地的な春一番であり、それらは「自転車市民権獲得」にとって乱気流のようなものではないでしょうか？

特に山口県では春一番の期間前に風が吹いてしまった感があり、中国5県の昨年の訪日観光客数の中で山口県のみが前年割れしていて、折角の「サイクル県やまぐち Project」も微妙な雲行きです。

また、国の進める「ナショナルサイクルルート」も直接の指摘ではありませんが、「日本の観光地はなぜこれほどお粗末なのか？」と疑問を呈されており、いわゆる箱モノの匂いが漂っています。

それでも、「中上級者向け」から「自転車遊びの模索」、そして「自転車市民権獲得」へと、活動の守備範囲を拡げながら関係者の共感を得る戦略をとってきましたが、“道路の目的外使用”と言う“イベントサイクリング”に行く手を遮られ、またネット社会による情報格差や流通難民も影響して、拘りのキーワードが色褪せつつあります。

つまり私の拘る「街道・山道・町の道」での“ツーリングコンペティション”は、組織で遊ぶ“道路の等身大使用”と言え、その運営には以下の拘りのキーワードが並べられます。

- 「ショップのメリット・デメリット／継続にはニュートラルの立場が必要条件」
- 「時には参加者・時にはスタッフ／リバーシブル運営が等身大イベントの基本」
- 「走り出したら自己責任／大人のサイクリングの大前提」
- 「春需でソフト／自転車遊びの入口はショップでの出会い」

これらは“箱モノ的イベントサイクリング”ではない、“組織で遊ぶツーリングコンペティション”を運営する基本のキですが、「自転車市民権獲得」に向けて考えた《登頂ルート「クローズド&オープン」の提案》の前提、“地域貢献型マルチサイクリングクラブ(注)”の理念にも相当します。(注：別項参照)

その“マルチ”の中には“スクール”も含まれ、不発に終わった「Go羅漢HG」でも、パンプトラックや練習用MTBコースを走る前にレンタサイクル利用者の技量をチェックしたところ、日常利用とスポーツ利用のテクニックの違いを学ぶ「ミニスクール」は有効だと感じ、それをキッカケに「Go羅漢Goプラン：週末ミニスクール&定番ツーリング」を考えたところでした。

#### ▼Go羅漢Goプラン

[http://bikejoy.web.fc2.com/toretoreGR/Yamashiro\\_Trail\\_Maintenance.htm#20192020](http://bikejoy.web.fc2.com/toretoreGR/Yamashiro_Trail_Maintenance.htm#20192020)

そう言った超大型連休の不発企画からのヒントや、道路の目的外使用に押される等身大使用という現状を踏まえ、イベントや業界だけでは解決出来ない「自転車市民権獲得」から、個々の自転車目線でも実現可能な「地域資源再発見」へ、活動の守備範囲を変更する方向で戦略の見直しを考えています。但し、「拘り」や「布石の回収」さらに「究極の目標」もあるため、独善的な部分と柔軟に進めたい部分があります。

まず独善的な部分は、友人の意見も聞いた上で考えていますが、「自転車遊び総合研究会／Bicycle Play Research Group」を、「自転車遊び融合研究室／Bicycle play fusion laboratory」にしたいと思います。これまでの「転遊研'R」の自転車市民権獲得を模索する活動で解かったことは、総論賛成各論反対の自転車村の「敵は身内に在り」と言う実情です。そして「転遊研'F」で目指すことは、自転車目線の地域資源再発見をベースに、自転車村玉石混合ソフトの垣根をとかす作業です。

個人的には、「羅漢高原ミニスクール&定番ツーリング」をベースにするため、かなり守備範囲が狭まりますが、それは協力者の入れ替わりによる私の考え方の変遷であって、最終目標にブレはありません。(多分?) それは、「単発のイベントではない、継続的な仕組み作り」と言うことで、“組織で遊ぶツーリングコンペティション”に集約されます。

続いてやっと本題である、アドバイスを頂きたい部分です。

それは『クローズド&オープンの提案』と、冒頭で触れた昨年の不発4連発企画のひとつ、「毛利チャレンジ2018」に関連した『岩国市への提言』と言う二つ布石の扱いです。

#### ▼クローズド&オープンの提案

[http://bikejoy.web.fc2.com/JCP/CKYP7\\_RCAJ3.htm](http://bikejoy.web.fc2.com/JCP/CKYP7_RCAJ3.htm)

#### ▼岩国市への提言

[http://bikejoy.web.fc2.com/ICD/MocMRT/MomiMoc18\\_RRSK\\_DouFuu.htm#08](http://bikejoy.web.fc2.com/ICD/MocMRT/MomiMoc18_RRSK_DouFuu.htm#08)

表紙変更の認知や、岩国市の同意など、未確定な要素がありますが、羅漢高原を中心に山口県・広島県・島根県を跨ぐエリアで「拘りのツーリングコンペティション」を展開しつつ、究極の目標のひとつである「MTB 24時間耐久レースの東西隔年開催」に注力するとしても、それでも外せないのが「春需でソフトを！」と言う自転車村の命題です。

自転車遊びの充実を考えるなら、ショップやクラブの役割は重要で、転遊研‘R’では、その可能性を「ツーリングコンペティション」に求めてきましたが、「イベントサイクリング」が隆盛の中、道路の自由使用の解釈でサイクリングの法的根拠がさら曖昧になり、その作業は、ほぼ無意味となりそうです。そこで転遊研‘F’では、日常利用とスポーツ利用のテクニックの差異に再注目して、“5月の自転車月間”に合わせて各地の自転車スクール情報をまとめ、“春需でソフト”の第一歩としたいと思い、またこの矢として、「一期一会の日本一周」として、かねてよりの「ナショナルブルベ」の実現に向けた協力を、各地の有力ショップや元気なサイクリングクラブに呼び掛け、それを“秋需でもソフト”に出来ればと戦略変更に伴い改めて考えています。

しかしながら、「クローズド&オープンの提案(2018/07/05)」と「岩国市への提言(2019/02/17)」には共通部分と異なる部分があります。共通部分は「地域貢献型マルチサイクリングクラブ(注)」の種を蒔く作業で、異なる部分は前者で「サイクリングネットワークの再構築」だったテーマを、後者では「新機軸のサイクリングネットワーク」にしようとしていることです。(注：調整ページ参照)

つまり、超大型連休の不発企画からのヒントを基に、「転遊研‘R’」から「転遊研‘F’」に表紙を変え、守備範囲を「自転車市民権獲得」から「玉石混合ソフトの融合」に変える中で、それでも拘りのツーリングコンペティションの核となる「ナショナルブルベ」の実現に向けた組織作りを目指すのは、【単発のイベントではない、継続的な仕組み作り】=【組織で遊ぶツーリングコンペティション】を表舞台に出すことで、それらの山口県先行実施と全国展開のバランスをどうするか、また、再構築か新機軸かという課題に対して、皆様のご意見をお伺いしたいと考えています。

尚、Go 羅漢ゴープランは、サイクル県やまぐち Project との連携を考慮して暫定 2 年計画となっておりますが、地域資源再発見には季節の見極めが必要なため、3 年計画を視野にしています。

### § ゴープランその1:週末企画/ミニスクール&定番ツーリング

06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18
新機除			定番ツーリング						ミニスクール2回				新機除		スクール&新ライド				定番ツーリング						

週末のオートキャンパーを対象にパンptrackや周回MTBコースを楽しむためのミニスクールや、近隣のショップやグループを対象にトレイルメンテナンス済みのルートにて3~4時間の定番ツーリングを行なう。

### § ゴープランその2“改”:月イチ企画/MTBツアーズ、Go 羅漢ブルベ、道普請合宿、大会誘致、その他

6月/コース試走会	7月/コース試走会	8月/キャンプ&ライド	9月/ヒルクライム ※THT26メモリアル150pre企画	10月/Go 羅漢ブルベ ※やましろかたドライブ to 上沼田	11月/ミニレース ※新岩国~長門市ブレライド
12月/道普請忘年会 /MTBツアーズ	1月/道普請新年会 /MTBツアーズ	2月/とれとれバイク /MTBツアーズ	3月/シクロクロス /MTBツアーズ	4月/時々合宿 /MTBツアーズ	5月/Go 羅漢グランドオープン /MTBツアーズ
6月/ネイチャーツーリング	7月/ナイトライドプラス	8月/キャンプ&ライド	9月/ヒルクライム ※THT26メモリアル150トーナメント	10月/Go 羅漢ブルベ ※やましろかたドライブ to 本郷	11月/ミニレース ※新岩国~長門市2daysSC
12月/道普請忘年会 /MTBツアーズ	1月/道普請新年会 /MTBツアーズ	2月/とれとれバイク /MTBツアーズ	3月/シクロクロス /MTBツアーズ	4月/時々合宿 /MTBツアーズ	5月/Go 羅漢ジャンボリー /MTBツアーズ
6月/ネイチャーツーリング	7月/ナイトライドプラス	8月/キャンプ&ライド	9月/ヒルクライム	10月/Go 羅漢ブルベ ※やましろかたドライブ to 広瀬	11月/MD24h in 羅漢

メーカーやショップや自転車関連団体と連携して、月イチペースでツーリングからレースまでバリエーション重視でより多くの自転車愛好者に対して企画を仕掛け、春秋年2回の情報発信が出来るようにする。(個々のメニューについては調整ページで解説します。)

以上になりますが、下記 URL に資料等をまとめますので、企画調整にご協力下さい。

#### ▼Go 羅漢ゴープラン調整ページ

[https://bikejoy2.web.fc2.com/toretoreGR/go\\_rakan\\_fusion.htm](https://bikejoy2.web.fc2.com/toretoreGR/go_rakan_fusion.htm)

長文乱文失礼しました！改めてご連絡しますので、宜しくお願いします。

(いしまる)

★欄外相談：下記 URL は、「サイクリングに適さない理不尽な道」と「第 1 回ナショナルサイクルルート制度検討小委員会配付資料」と「日本の観光地はなぜこれほどお粗末なのか」へのリンクです。サイクリングはオルタナティブツーリズムという概念が薄く、大人のグループサイクリングの法的根拠が曖昧な日本に於いて、果たしてどうなると思われますか？

#### ▼理不尽な道

[http://bikejoy.web.fc2.com/JCP/YBK/Road\\_of\\_Rifujiin.htm](http://bikejoy.web.fc2.com/JCP/YBK/Road_of_Rifujiin.htm)

#### ▼ナショナルサイクルルート

<http://www.mlit.go.jp/road/ir/ir-council/ncr/doc01.html>

#### ▼東洋経済コラム

<https://toyokeizai.net/articles/-/282367>